

H23. 5. 14

東北に行かなくてもできること



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
東京医大卒業後、大阪大第二内
科入局。平成7年、尼崎市で「長
尾クリニック」を開業。外来診療
から在宅医療まで「人を診る、
合診療を目指す。医学博士。労働
衛生コンサルタント。52歳。ブロ
グ (http://www.nagaoclinic
.or.jp/doctorblog/nagao/) が好評。

4月28日から8日間、車で
岩手、宮城、福島と転々と南
下し、被災地はほぼ全てを巡り
ました。聴診器片手に水や
枕、薬を差し入れしながら、
約千キロの行程で多くの生情報
を得ました。
花巻空港から遠野に入った
のが、震災からちょうど49日
目。急性期から慢性期へ移行
する時期です。東北の地に一
体何が起きているのか。自
らの目で視診、手で触診、そ
計な作業を続けている。いっ
そ流された方がよかった」

相馬市の震災孤児にご支援を！

宮城県気仙沼市では、湾の
真近に建ちながら奇跡的に残
った「ホテル望洋」に宿泊。
最初は避難所でしたが、私が
行ったときはボランティア学
生らが運営していました。フ
エリーで大島に渡り、島でた
だ一軒の診療所の手伝いをし
たり、ただ1人の訪問看護師
さんに行ったりしました。
仙台市荒浜の光景に絶望し
ながらも、堤防の向こうに残
ったあまりに美しい砂浜に絶
句。名取市の閉上小学校で



東日本大震災特集③

は、がれきの中から自衛隊員
が取り出した写真をきれいに
洗い、持ち主に届けるボラン
ティア、「思い出探し隊」の
皆さまの活動に感動。福島県
三春町では、小説家で復興構
想会議の委員も務める玄侑
久さんと対談、鎮魂のお経を
唱えていただきました。
福島県相馬市では医師でも
ある立谷秀清市長に、行政の
立場からの震災対応の現場を
取材。道中、多くの病院、避
難所を訪ね、被災者、ボラン
ティア、医療者と話をし、多

くの情報を得て帰阪しまし
た。
一言で言うと津波は終わ
りましたが、原発はまだ終わ
っていない、むしろ混乱に拍車
がかかっています。相当なス
トレスです。問題はこれから
です。
さて、相馬市では震災孤児

相馬市震災孤児等支援金条例 相馬市は震災
孤児たちへ支援金を支給するため、「震災孤児
等支援金支給基金」を設置。振込先は東邦銀行相馬支
店 普通口座 1033249「震災孤児等支援金」。詳
細は相馬市のホームページで。

が4人も出ました。まだおな
かの中にいる子供も含めると
45人。「彼らが18歳になるま
で毎月3万円を支給する」と
いう条例が成立しました。試
算では約2億円の費用が必要
ですが、まだ1割強しか集ま
っていません。今回、この記
事を読まれた皆さまにぜひ支
援をお願いいたします。
義援金はまだ1円も届いて
いません。仮に届いても孤児
には届きません。なぜ相馬な
のか？ という疑問があるで
しょう。実は孤児の支援条例
が制定されたのは現在のとこ
ろ相馬市だけなのです。
もし相馬プロジェクトが成
功すれば、おのずと他の自治
体にも広がるでしょう。孤児
の支援は、基礎自治体がきめ
細かく行えばいい。阪神大震
災の被災者ができることは、
相馬プロジェクトを支援する
ことです。支援金は市長が交
代しても存続し、100%子
供たちに届きます。このよう
な条例がないと、支援金は確
実に実行されません。
家族や里親が育てるのでし
ょうが、この子供たちこそが
未来の東北、いや未来の日本
を作ります。災害孤児救済モ
デルをわれわれの手で支援し
ましょう！すでに世界中か
ら志が集まりつつあります。
ベルギー在住の知人にも呼び
かけて街頭で沢山の募金を集
めてもらいました。私も街頭
に立ちたいと思います。
(今回は大人への支援につ
いてです)

ひよこ